

聖路加国際大学 公衆衛生大学院 主催
日本医療研究開発機構 協賛
日本感染症学会 後援
国際保健セミナー



GLOBAL HIV EPIDEMIC

サリム・アブドル・カリム教授は、HIV感染の予防と治療で有名な臨床疫学者です。殺菌薬の局所投与による女性のHIV感染予防を長年研究し、抗HIV薬テノフォビル製のゲル製剤がHIV感染予防に効果があることを示しました(CAPRISA 004試験)。カリム教授は南アフリカ・ダーバンにあるクワズル・ナタル大学の副学長で南アフリカエイズ研究センター長を務めていると同時に米国ニューヨークのコロンビア大学、コーネル大学でも教鞭を執っています。また、UNAIDS、WHO、ゲイツ財団などの国際機関の要職や多数の国際ジャーナルで編集委員を務めています。



今回の講演では、HIV感染の世界的状況についての話題を中心にご講演頂きます。
エイズ対策の向上について最前線の内容を聴くことができる貴重な機会となっております。
多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

|スピーカー|
サリム・アブドル・カリム 教授
コロンビア大学メイルマン公衆衛生大学院

日時：2017年8月23日（水）17：00-18：00（16：30 受付開始）
会場：大村進・美枝子記念聖路加臨床学術センター 日野原ホール
参加費：無料（事前登録が必要となります）
申込み：<https://cce.luke.ac.jp/seminar/detail/id/63/>
参加者：200名（定員になり次第、申し込みを締め切ります）
言語：英語
主催：聖路加国際大学 公衆衛生大学院
協賛：国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
後援：一般社団法人日本感染症学会

